

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 令和5年度第2回シンポジウムの開催

(令和6年3月8日、Web会議形式での開催。事前登録者706名、当日視聴回数565回)

- ・官民連携プラットフォームでは、孤独・孤立対策に関する全国的な普及活動を行うためシンポジウムを開催。
- ・令和5年度第2回は、孤独・孤立対策地域協議会の解説や取組み紹介、パネルディスカッションを通して、地域内で官民それぞれが役割や主体性をもった連携体制を構築するためのアクションや工夫とは何かをテーマに開催。

【解説】 「孤独・孤立対策地域協議会」について

報告者 内閣官房 孤独・孤立対策担当室 参事官補佐/青野 恵理子氏

【パネルディスカッション】 「孤独・孤立対策地域協議会」設立に向けた地域ごとの課題や工夫・アクション (1) 特色ある「孤独・孤立対策」の取組と「孤独・孤立対策地域協議会」設立の方向性

<広島県尾道市の取組>

報告者 広島県尾道市 平谷 祐宏 市長 / 福祉保健部
社会福祉課保護係保護係長 藤原 一宏氏

概要 市内7圏域の特徴を活かして構築した地域の一体的なケアシステムを基盤として、官民連携の多分野支援を可能にする孤独・孤立対策に取り組む。

<熊本県熊本市の取組>

報告者 熊本県熊本市 健康福祉政策課副課長 森川 毅氏
特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク
代表理事 樋口 務氏

概要 官民連携による孤独・孤立対策PFを令和4年度に構築。今後は幅広い分野の団体等をPFに巻き込み、PFのコアメンバーで地域協議会を構成するイメージ。

【パネルディスカッション】 「孤独・孤立対策地域協議会」設立に向けた地域ごとの課題や工夫・アクション (2) 取組の課題や工夫・アクションについて意見交換

モデレーター

内閣官房 孤独・孤立対策担当室 政策参与/大西連氏

パネリスト

- ・内閣官房孤独・孤立対策担当室 山本 麻里 室長
- ・社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子氏
- ・特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長 吉田 建治氏

- ・広島県尾道市 福祉保健部 社会福祉課保護係 保護係長 藤原 一宏氏
- ・広島県尾道市 社会福祉協議会 サポートセンター 係長 高橋 望氏
- ・熊本県熊本市 健康福祉政策課 副課長 森川 毅氏
- ・特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク 代表理事 樋口 務氏

- 既存のプラットフォームと孤独・孤立対策の違いについて議論。孤独・孤立対策には「予防」や「楽しむ活動」という観点が入っていることが特徴。多様な分野/立場の支援者や専門家を巻き込み、支援の網を拡げられることがポイント。
- 官民双方の「縦割り」の打開について議論。直接支援者同士が会って話し目線を合わせたり、単独の部署や団体では解決できない複合的課題の周知/理解促進、様々な取組が実は孤独・孤立対策に繋がることの発信等の工夫がある。